

令和4年度～6年度 中期経営計画

公益財団法人さいたま緑のトラスト協会

当協会は、県民が主体となって行う県内の優れた自然や貴重な歴史的環境等を保全するための活動である「緑のトラスト運動」を推進する組織として、昭和59年に財団法人として設立され、平成24年に公益財団法人になりました。

これまで、「緑のトラスト運動」の普及啓発、埼玉県が設置する「さいたま緑のトラスト基金」への募金活動の実施、同基金で取得された「緑のトラスト保全地」の保全管理など、協会の会員やボランティアスタッフの参加・支援のもと、埼玉県や地元市町と一体となって、運動の推進に寄与してきたところです。

「緑のトラスト保全地」は、平成2年に第1号地を取得して以来、令和4年3月末現在、14か所、約74.9haになりました。

近年、当協会の事業実施にあたって、SDGsの推進という新たな目的も加わり、これら保全地を県民共有の財産として、良好な状態で末永く保全するとともに、環境学習の場、自然体験活動の場としても活かしていくことが求められています。

当協会は、「緑のトラスト運動」の輪をさらに広げ、ふるさと埼玉の緑を次世代の人々に引き継ぐという役割を果たすべく、これまでの活動の実績や経験を基にこれからの3年間で以下の経営方針や経営目標を柱として事業を進めていくものです。

1 経営方針

- (1) 「緑のトラスト運動」を推進します。
- (2) 「緑のトラスト運動」に関連する活動を支援します。

2 経営目標

- (1) 県民主体の「緑のトラスト運動」を推進するため、魅力ある事業を展開し、運動の基礎となる会員の確保に努めます。
- (2) 「緑のトラスト運動」の担い手であるボランティアスタッフを確保するとともに質の向上を図るため、魅力的なイベントや充実した研修を開催するなどして、ボランティア数の増加に努めます。
- (3) 「緑のトラスト運動」への理解を促進するため、魅力的なイベントの開催や積極的な広報を行うことにより、自然観察会等のイベント参加者の増加を図ります。
- (4) 「緑のトラスト運動」を継続的に推進するため、SDGsへの理解と関心の高い企業・団体等への呼びかけを実施し、寄付金及び会員会費の収入の拡大を図ります。

〈数値目標〉

	令和3年度 実績	令和4年度末 目標	令和5年度末 目標	令和6年度末 目標
会員数（個人・法人）	1,457人	1,470人	1,490人	1,510人
ボランティア実働者数	461人	460人	470人	480人
自然観察会参加者数	134人	400人	410人	420人
寄付金・会費収入額	488万円	525万円	546万円	568万円

※ 「会員数」の単位は「人」としているが、法人や団体も含まれる。

※ 「ボランティア実働者数」は、複数の保全地に登録している者については、重複した人数となっている。

※ 「自然観察会参加者数」は、一般参加者及び会員の延参加者数であり、運営に参加したボランティアスタッフ数は除いている。

また、令和4年度末以降の目標値は、新型コロナウイルス感染症の影響による開催中止がないものとして算出している。

3 事業計画・実施方策

(1) 「緑のトラスト運動」普及啓発事業の充実

ア 「緑のトラスト保全地」を会場とした自然観察会や自然体験活動等のイベントを開催し、保全地に親しんでいただく事業を実施します。

イ 広報紙「グリーンアルファ」やホームページに、「緑のトラスト保全地」におけるイベントや体験活動等の情報を掲載するなど広報の充実を図り、多くの県民の参加を促します。

ウ 企画の実施運営に当たっては、「緑のトラスト運動」を支えるボランティアスタッフや県、地元市町、その他関係団体との連携を図ります。

エ より多くの人に「緑のトラスト運動」を理解してもらうため、他団体が主催するイベントへの参加を進めます。

オ 学校、大学等と協力しながら、児童・生徒・学生を対象とした普及啓発、保全体験活動等の充実を図ります。

(2) ボランティアスタッフの募集・育成

ア 「緑のトラスト運動」推進の担い手となるボランティアスタッフを広く募集・育成するため、「緑のボランティアセミナー」の充実を図るとともに、様々な協会の活動において、セミナー修了者との協力体制の確保に努めます。

イ 保全管理に係る知識や技能を高める研修やボランティアスタッフとの連携・情報交換を図るための会議を開催するとともに、各「緑のトラスト保全地」の活動状況等について、協会ホームページや県の関連サイトに掲載するなど、情報ネットワークの充実を図ります。

ウ 「緑のトラスト運動」を推進するため、多様な活動を受け入れる体制を確保するとともに、ボランティアスタッフの高齢化に対応するため、若い世代のボランティアスタッフの参加及び育成を図ります。

(3) 寄付金・会費収入の拡大

ア 「緑のトラスト運動」への参加がSDGsの推進に大きく寄与することをアピールし、寄付金の増収や新規会員の獲得を図ります。

イ 企業・団体等の研修・厚生事業の場として「緑のトラスト保全地」の活用を勧めることにより、企業・団体等の社会貢献活動と寄付の受入れを推進します。

ウ 協会のホームページや広報紙の内容の充実を図り、参加しやすいイベントを企画して会員数を維持・拡大します。

(4) 「緑のトラスト保全地」の適正な管理

ア 「緑のトラスト保全地」の適正な管理を推進するため、ボランティアスタッフの募集や地元市町、関係企業、大学、団体等との連携を進め、管理体制の強化を図ります。

イ 近年、枯損木・支障木の増加による枝折れや、暴風、豪雨等の自然災害による倒木等の被害が増加しているため、ボランティアスタッフの安全に対する意識を高めるとともに、日頃から情報共有を図り、保全地内散策路等の安全確保に努めます。

収支計画 (単位：千円)

	科 目	令和3年度 (決算)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	基本財産運用収入	11	10	10	10
	寄付金収入	593	745	845	945
	委託事業収入	25,571	27,400	27,400	27,400
	会費収入	4,284	4,505	4,620	4,735
	補助金収入	1,815	1,815	1,815	1,815
	その他	190	170	170	170
	合 計	32,464	34,645	34,860	35,075
支 出	事業費				
	普及啓発事業	3,093	3,500	3,500	3,500
	保全地管理事業	21,556	21,795	22,010	22,225
	募金活動事業	7,141	7,500	7,500	7,500
	法人管理	1,834	1,850	1,850	1,850
合 計	33,625	34,645	34,860	35,075	
当期収支差額		△1,161	0	0	0

※ 令和3年度決算数値は千円未満四捨五入で、端数処理をしていない。